



ひがしの

「ふるさと東野」に誇りをもち、東野を軸足に夢に向かう東野の子

—東野小学校 運営協議会 目指す子供の姿

校長 ^{いわい}岩井 ^{ゆみ}裕美

東野小学校運営協議会 5 年目を迎えます。5 年前に掲げためざす児童像についてどこまで実現できているかを振り返りました。「ふるさと東野のよさを知る」については、昨年度末 自校評価「ふるさと教育の充実 3.3」（目標値 3）、児童アンケート「東野のよさを知っている 84%」と実現に向かっている感触です。一方、「夢に向かう東野の子」については、自校評価「期ごとの目標の設定 2.6」、保護者アンケート「子供が目標やめあてをもって生活している 56%」と低い結果となりました。



全国学力学習状況調査「将来の夢や目標をもっていますか」の肯定的な回答の低さは岐阜県、さらには東濃地区の課題の一つです。そこで恵那市の「志教育」も踏まえ、今年は子供たちに夢を描かせ、その実現に向けて今何ができるかを考える時間を設けました。それが先日複数の新聞でも取り上げていただいた、「市長さんと夢を語る会」

です。ご多忙の市長さんが二つ返事で引き受けてくださり、ご自身の子供・学生時代のお話、市役所の職員になられて心がけてみえたこと、そして今市長として考えていることを子供たちに分かるやさしい言葉で説明してくださいました。また、自分の夢を語る子供たち一人一人に、励ましや応援の言葉をかけてくださりました。キラキラした目で前のめりに市長さんのお話を聴く子供たちの姿を見て、子供たちにとって忘れられない時間になったと感じるとともに、子供たちが夢の実現に向けて努力を積み重ねていく姿が目に見えました。

この前市長さんと語る会がありました。そこで僕は市長さんの行った言葉に感動しました。それは働くとは人が動くという意味ではなく、人のために動くという意味だということです。僕の夢は医者です。市長さんの言葉を忘れず誰かを幸せにするために働きたいです。

—翌週のお昼の放送より

今年度は東野小学校前身の東雲義校開校 150 周年です。東野開発振興会のお力をお借りして、子供たちや保護者、地域みなさんに心に残る催しができたら幸いです。また、その際には、子供たちが描く夢を聴いていただきたいと思います。